

## バイクという乗り物

風  
々

広報委員

田村 高志

還暦を目前にしてなぜかバイクに乗り始めた。ここでいうバイクとは自転車ではなくオートバイのことである。学生時代からこれまでバイクという乗り物にまったく興味がなく、それどころかあの危険でうるさい乗り物を嫌悪していた。主要駅の近くに住んでいるのだが、時折深夜に複数のバイクが空ぶかししながら走っていくのを耳にすると本当にうんざりしていた。乗り物を単なる二地点間の移動手段だと捉えると、バイクより快適で安全な自動車というものが広く普及しているのだから、バイクを選択する余地はない。そんなわけでバイクの存在意義をまったく感じていなかった。

ところがである。コロナ禍で社会が外出自粛モードとなり、いろいろと不自由を感じていたときなぜかバイクのYouTubeが目に留まった。モトブログという分野らしい。そうか、バイクはゼロ密か。一瞬いいなあと思ったものの50代後半で果たして免許が取れるのだろうか、倒れたバイクを起こせないと自動車学校を卒業できないらしいが実際に起こせるだろうか。二週間くらい悩んで妻に相談。当然「なにバカなことを」とけんもほろろに突き放された。

それから十日くらい、機会を見つけては話してみる。自分の年齢は理解しているけど、残りの人生で今が一番若いのだから今しかないとか、バイクの運転操作は複雑だし車よりも前方の状況を早く察知しないといけないので認知症予防になるとか、きちんとした姿勢で乗らないといけないので体幹が鍛えられるとか、妻は学生時代に中免（今

の普通自動二輪免許）を取っていた（バイクを所有したことではない）ので、自分が取れば一緒にツーリングに行けるよ、などとぐじぐじ言っていると、妻がついに根負けしとおりあえず自動車学校に話を聞きに行ってみようということになった。その時、妻がバイクのペーパードライバー講習のことを口にしていたので、かなり前向きな印象。そして無事に許可が下り免許が取得できた。

実際に乗り始めて思うのは、バイクはとても不完全な乗り物だということ。安全性や快適性をかなり犠牲にしたとても不便な乗り物である。こんな乗り物をよく政府は許可し続けていたよな。バイクメーカーとバイクショップもこれまでよく頑張って存続してくれていたものだな。そういうえば子供の頃に見ていた仮面ライダーはバイクショップを舞台としたストーリーだったような。バイクのメンテナンスをしてくれるおやっさんの手が真っ黒だったことをよく覚えている。世間から白い目で見られながらもほそぼそ（？）とバイクという文化を守り続けていた人たちがいたおかげで、今自分はバイクに跨ることができる。感謝である。

有名なバイクメーカーにハーレーダビッドソンという会社がある。今でもつぎつぎと魅力的なバイクを開発し販売しているのだが、かなりレトロなハーレーをこよなく愛する人たちがいる。一般的なバイクのギアチェンジは左手でクラッチを切り左足の先でレバーを上げ下げして行うのだが、車のように左足でクラッチを切り、タンクやシートの左にあるシフトレバーを左手で操作してギア

チェンジを行うという、かなりマニアックなものもある。特にシートの左にある場合、ジョッキーが馬に鞭を当てる格好に似ているため、ジョッキーシフトとも呼ばれる。バイクに乗ったことのない人に想像してもらうことはかなり難しいが、右手はアクセルと前輪ブレーキ、右足は後輪ブレーキなので、坂道発進はどうするのか、とても変態な方法でYouTubeに多くの動画がアップさ

れている。バイクは不便を楽しむ不合理な乗り物。そのバイクに無理やりキャンプ道具を積み込んでソロキャンプを楽しむ人たちもいる。

バイクに乗るようになって初めて知った「未知の世界」がそこにはあった。

お知らせ・ご案内



## 産業医学振興財団からのお知らせ ～産業医学調査研究助成事業 助成希望者募集について～

産業医学振興財団では、産業医学の振興と職場で働く人々の健康確保に資することを目的に、産業医学調査研究助成事業として、職場で働く人々の健康の保持や産業医活動の推進等に関する調査研究に対する助成を行っております。このたび、令和8年度の産業医学調査研究助成事業で助成を希望される研究者を募集（募集期間：令和7年11月1日～令和8年1月末日）します。

研究期間：2年間（令和8年4月1日から令和10年3月31日まで）

(1) 助成金額：1年間あたり上限100万円（2年間で上限200万円）

(2) 申請資格：産業医または産業医を含む共同研究グループ

事業場、健康診断機関、作業環境測定機関等の産業保健スタッフ  
(必ず一人は産業医を含む共同グループであること)。

詳細は財団ホームページ (<https://www.zsisz.or.jp/investigation/r8.html>) をご覧ください。

連絡先：公益財団法人産業医学振興財団 振興課

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-11 新倉ビル3F

TEL：03-3525-8294 E-mail:fukyu@zsisz.or.jp

産業医学振興財団 HP <https://www.zsisz.or.jp/>